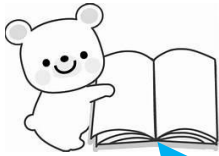


ほんじつ ～本日のおすすめの本⑩～



『じゃんけん学～起源から勝ち方・世界のじゃんけんまで～』



稲葉茂勝 作・こどもくらぶ編

出版：今人舎(2015年初版)

*この本は 3類の書棚にあります。貸出可能

みなさんは、じゃんけんをしたことは・・・もちろんありますよね。

そもそも、じゃんけんって、なんででしょう？

じゃんけんは、いつでもどこでもできる遊びですが、今は、どちらかというと、物事を決めるときに行われることが多いようです。そして、じゃんけんの発祥の地は、どうやら日本と筆者は力説しています。(もちろんこれは、諸説あります。中国でもじゃんけんがありました。ハサミ・石・布でした。じゃんけんの歴史を調べてみるとおもしろいですよ。)

わたしたちは、じゃんけんをするときによく「さいしよはゲー」といいますね。これは、昭和40年代から習慣化されたといわれています。

1969年～1985年の土曜日夜8時から放送された人気番組「8時だよ！全員集合！」は、当時の子どもたちの間で大人気でした。その番組のドリフターズのコントが、日本中で真似されたのです。そのなかに、「さいしよはゲー」ではじまるコントがあったようです。

今年、新型コロナウイルス肺炎で亡くなった元ドリフターズのメンバーである志村けんさんも、「さいしよはゲー」とよく生放送中に言っていたそうです。

じゃんけんは、「じゃんけんぼん」と声をかけあって、「ぼん」と言うと同時に「ゲー・チョキ・パー」のいずれかを出しますが、呼吸があわなくてうまくいかないこともあります。

当時、ドリフターズの番組は、ほとんどが生放送でしたので、呼吸を合わせるタイム「さいしよはゲー」とかけ声をかけていたのかもしれないですね。

そして、じゃんけんは、世界各国でいろいろな種類があります。

知れば知るほど奥が深い「じゃんけん」についての学びを、深めてみませんか？

国際理解や多文化共生の視点からも、「じゃんけん」にはとてもおもしろい秘密がかくれているようです。ぜひ読んでみてください。



自分で読むなら、
3年生以上・
読んでもらうなら
1年生から楽しめます。

五年生の国語の教科書に「言葉の意味がわかること」という単元があります。異なる文化や言葉に表れた、わたしたちのものの見方の特徴について述べられています。

本を読むときに筆者があげている「事例」や「理由」に着目すると、難しい文章も整理して読むことができますよ。まずは、今回紹介したような本からチャレンジしてみてください。とてもおもしろく、簡単な本です。